

みてやっぺ!

春満開!今年の桜はイイ桜

柴原萩久保桜祭り

4月22日(日)、柴原萩久保応急仮設住宅自治会主催の桜祭りが開催されました。ステージイベントでは、民謡愛好会のみなさんの生演奏に合わせて柴原萩久保仮設のお母さん達が相馬盆歌を踊ったり、「JACK天野」さんの紙芝居、自治会長の遠藤さんが作詞した「望郷桜」のお披露目がされた「青谷明日香」さんのライブなど、幅広いジャンルの出演者のみなさんが会場を盛り上げてくれました。その他会場では、豚汁やおにぎり、甘酒などの振る舞いも行われ、花冷えの寒い



みんなで楽しく踊りました♪

一日でしたが、参加された多くのみなさんの心と体を温めてくれました。集合写真の表情を見てください!



みんなで力を合わせて桜祭りを創りました!

この桜祭りをゼロから創り上げ、楽しむことができた大きな達成感で溢れています。

五百淵さくらウォーク

4月12日(木)から4月25日(水)の期間、郡山市山崎の五百淵公園で、「ふくしま絆力フェ富岡」のみなさんが企画した「五百淵桜ウォーク」が開催されました。始まった当初は蕾が固い状態でしたが、終盤には見ごろを迎え、参加した方々は綺麗に咲いた桜に会話を弾み、桜並木のウォーキングを楽しんでいました。

開成山花見

4月21日(土)、福岡市、東京都、郡山市のボランティアのみなさんのご協力のもと、郡山市開成山公園にてお花見会が行われました。今回は郡山市内の仮設住宅の方や借り上げ住宅、そして地元郡山市の方も含めて200人以上の方々が集まりました。綺麗に咲いた桜の下、ご提供いただいた料理や飲み物を飲食したり、バイオリン演奏やピエロパフォーマンスなどのアトラクションを楽しむなど、お花見を満喫していました。



五百淵公園でパシャリ♪

「県北地区在住富岡町町民自治会」お花見会

4月22日(日)、あづま総合運動公園で、県北地区在住富岡町町民自治会のお花見会が行われました。福島大学災害ボランティアセンターのみなさんのご協力のもと、公園にシートを広げていざお花見…、ところが、天気も曇りでとても寒かったので、急遽場所を富岡さくらサロンに移して行いました。サロンでは自己紹介やビンゴゲームで盛り上がり、桜の昔話にも花を咲かせていました。背景:泉八幡神社参道の桜



秋田県にいってきました

4月16日(火)～17日(水)に、おだがいさまセンタースタッフが秋田県仙北市に行ってきました。仙北市の市長をはじめ教育委員会、社会福祉協議会など、仙北市のみなさんにご協力を頂き、「桜の枝」を沢山頂くことが出来ました。この「桜の枝」は今年度始める予定の事業に使うものです。富岡町といえば夜ノ森の桜であり、名産品として「桜染め」が有名です。この桜染め工房を開き創ろうという計画ですが、材料となる桜の枝をいただき感謝しきりです。なお、この事業については具体的になりましたら改めてお伝えしたいと思いますので、楽しみにしていて下さい。

「学びの時間」にまざってみっぺ!



楽しく学びましょう!

4月18日(水)、「おだがいさまセンター」で「学びの時間」が行われました。先月から「おだがいさまセンター」で行われている小中学生の学習支援「おだがいさま子ども広場」の様子を見ていた住民の方の「自分も勉強したい」という声に応えて、この「学びの時間」は始まりました。内容は、脳を活性化する「音読教室」や「漢字検定の学習」などで、講師は、富岡高校で校長先生をしていた、

緊急!! ご注意ください!

仮設住宅内で、このような本や新聞等を持って宗教団体への勧誘をしている方がいます。「おだがいさまセンター」の黄色い腕章をしていない方の話は聞かないことをお勧めします。また、仮設敷地内での宗教の勧誘は、やってはいけないことになっています。強引に勧められて困っている方は「おだがいさまセンター」にお知らせ下さい。



配られたチラシなど

手作り広場開催

4月24日(火)、南一丁目応急仮設住宅で、郡山友の会のみなさんによる「手作り広場」が行われました。今回は、唱歌の情景が描かれた塗り絵帖と色鉛筆が配布され、塗り絵をみんなで行っていました。この日は喫茶つづじも同時開催だったため、淹れたてのコーヒーや集まった人同士の会話を楽しみながら、それぞれ思い思いの色で塗り絵帖を自由に塗り上げていました。



塗り絵を楽しむみなさん

おだがいさまセンターアドバイザーの青木淑子が務めます。毎週水曜日におだがいさまセンターで活動を行っていますので、仮設・借り上げ関係なく、みなさんまざつてみっぺ!

日 時 毎週水曜日午後6時～午後7時

場 所 おだがいさまセンター

受講料 無料(※テキスト代として200円はいただきます。)



「喫茶つづじ」5月の予定

南一丁目 5月1日(火)・10日(木)・12日(土)・17日(木)・
24日(木)・29日(火)・31日(木)
♪ 5月は曜日がいつもの曜日と違っております。



おだがいさまセンター Q&A(その1)

「おだがいさまセンター」が「ビッグパレットふくしま」の避難所から富田町に移り、組織も新たに開所して2ヶ月半が経ちます。センターへの疑問や時には不満の声も聞こえる中、まずは「知つていただくことから始めよう!」と、今週号からこのコーナーをつくることにしました。みなさんからの「おだがいさまセンター」に関する“声”に、センター長の天野が答えます。

Q 「おだがいさまセンター」って何するとこなんだ?さっぱりわからんねえ~。



センター長天野

A 町民のみなさん自身が「生まれてよかったです」といえる暮らしを築き、希望を見出せる場と一緒に創り出していくことが、「おだがいさまセンター」の一番大事な目的です。このセンターは、富岡町民全て(仮設住宅の方や借り上げ住宅の方、県外避難されている方、全て)のこれから的生活を築いていくために様々な支援を行います。(富岡町だけではなく、双葉地区の避難者のためにも門を開いています。)これからやっていこうとしていることは、染めもの織りもの等もの作りの工房を創ること、趣味の色々な教室の開催、FMラジオ放送、ご覧になっている「みでやつべ!」の発行、身近な困りごと相談…いつもみなさんの手の届く所にありたいと願っています。ご意見でもご要望でも結構ですので、センター職員にお声をかけて下さい。

次号も、「おだがいさまセンター」に関する“声”にお答えします。みんなの“声”を、下記の電話やFAX、ツイッターなどで「おだがいさまセンター」に是非お寄せ下さい。

おだがいさまセンター (富岡町生活復興支援センター)

運営 富岡町社会福祉協議会 場所 郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅内)

電話 024-935-3332

FAX 024-935-3334

制作 バズ・クリエイターズ

おだがいさまセンター
ODAGAISAMA CENTER

ブログ <http://odagaisama.com/>

ツイッター <http://twitter.com/odagaisama>

QRコードはこちら



ブログ

ツイッター